



北海道環境生活部文化局文化振興課
縄文世界遺産推進室

〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5168 FAX.011-232-8695



北の縄文

北海道の縄文を学ぼう！

<https://kitano-jomon.jp/>

もっと詳しく知りたい方は、北の縄文ポータルサイトへ



じよもるんとじょうもてっ
北海道の縄文遺跡探究ワークブック

かきのしま
垣ノ島遺跡
おおふね
大船遺跡
きたこがね
北黄金貝塚



いりえ
入江貝塚
たかそご
高砂貝塚
しゅうていぼく
キウス周堤墓群

年 組 番 名前

はじめに

縄文文化の価値を未来に伝えよう

今から約1万5,000年前頃から地球が少しずつ暖かくなり、縄文時代がはじまります。それから1年以上の時を経て、本州以南は稲作や農耕がはじまり弥生文化に移行しましたが、北海道では続縄文文化、オホーツク文化、擦文文化、アイヌ文化と独自の歴史が展開されてきました。

時代は変わっても、その根底を流れているのは、豊かな自然とともに生き、命あるものすべてを尊重する心です。「北海道の縄文遺跡探究ワークブック」(本冊子)や北海道の縄文遺跡めぐりを通し、縄文文化に含まれるさまざまな価値を知り、未来につなげていきましょう。

		15,000年前	11,000年前	7,000年前	5,000年前	4,000年前	3,000年前	2,300年前	1,400年前	1,200年前	
本州以南	旧石器時代	縄文時代						弥生時代	古墳時代	飛鳥・奈良時代	平安時代
		草創期	早期	前期	中期	後期	晩期				鎌倉時代
北海道	旧石器時代	縄文時代						続縄文時代	オホーツク文化	擦文文化	アイヌ文化期
		草創期	早期	前期	中期	後期	晩期			トビニタイ	

もくじ

はじめに	1
概要・精神文化	3
自然・環境	4
暮らし・食	5
道具・技術	6
これが縄文1万年ストーリーだ!	7

北海道の森で暮らす
じょもん



ワークブックは
こんなふう
に使ってね

2021(令和3)年7月に
世界文化遺産に登録された

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、17遺跡、2関連資産で構成されています。そのうち北海道には6遺跡、1関連資産が点在し、どれも見学することが可能です。

本冊子の前半ページ(P3~P9)で予習を行い、現地では、後半ページ(P11~P20)も参考にしながら学びを深めてください。

なお前半は以下の4つのテーマで、縄文文化について紹介しています。



ページをめくり、
縄文遺跡探究の旅に出かけよう!



Let's go!



縄文時代黎明期	9
垣ノ島遺跡〈函館市〉	11
北黄金貝塚〈伊達市〉	13
大船遺跡〈函館市〉	15
入江貝塚〈洞爺湖町〉・鷲ノ木遺跡〈森町〉	17
高砂貝塚〈洞爺湖町〉・キウス周堤墓群〈千歳市〉	19
さあ、旅のまとめをしよう!	21



概要・
精神文化

まずは、 縄文文化の 特徴を教えるよ

縄文文化の最大の特徴は「定住生活」にあります。今の私たちには当たり前のことですが、人類史の中では、食料を求めて移動しながら暮らしていた期間の方が長く、家や道具を作り、周辺の海、山、川などで食料を調達することで、安定した暮らしを存続させたことは、時代の大きな転換点となりました。

残された遺構、遺物からは、そのような暮らしの中に、複雑な精神文化が存在していたことが見てとれます。大いなるものに祈り、ともに生きる自然の恵みに感謝をし、噴火や地震といった自然災害で変化する環境にも、上手に適応してきました。

また命を尊び、祖先を敬い、健康状態のよくない仲間も見捨てることなく大切にしていました。生活に必要な道具だけではなく、土偶や装身具などの思いを込めた物を作る豊かな心もありました。



事前MEMO

気になったこと・調べてみたいことを書いて旅の準備をしよう。



自然・環境

急激に訪れた 温暖期が縄文文化を 生んだんだ

地球は寒冷期と温暖期を数万年周期でくり返しており、北海道に初めて人が住んだのは約3万年前、寒冷期だった旧石器時代のことで、この時代の人々は、食料となる大型動物を追いかける移動生活をしていました。



しかし約1万5,000年前に急激な温暖化を迎えた地球は、氷が溶け、海水面が一気に上昇しました。その影響で地形にも変化が生まれ、北海道は大陸から離れて島として独立しました。

寒冷期が終わり、北海道にも温暖で湿潤な気候が訪れます。山々には緑が生い茂り、海にはさまざまな生物が生息するようになりました。このような食料を確保しやすい多様な自然環境の形成が、人々を定住生活へと導き、縄文文化の発展へとつながっていきました。

事前MEMO

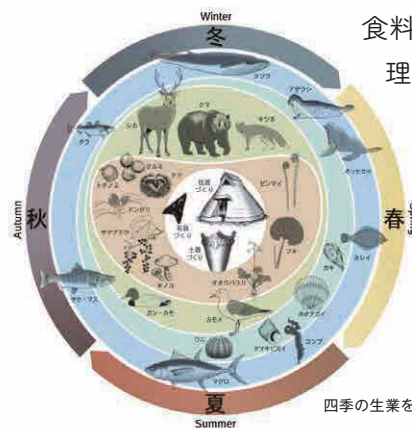
気になったこと・調べてみたいことを書いて旅の準備をしよう。



どんな家に住んで、 何を食べて いたのかな？

縄文の人々は山や丘、海や川の近くに^{たてあな}竪穴^{たても}建物を作り、木の実や果実、動物や魚を^と捕って暮らしていました。縄文文化を象徴する竪穴建物は、地面を掘って床にした、夏は涼しく冬は暖かい半地下の建物です。

復元された竪穴建物
(大船遺跡)



四季の生業を表す縄文カレンダー

食料を集めたり捕ったりする道具や調理の道具、食器、衣服など生活に必要なものは、木や石といった身近な材料や、動物の骨、角を使って作っていました。食べたあとの貝がらやゴミ、使い終えた道具は貝塚に捨てられました。

事前MEMO

気になったこと・調べてみたいことを書いて旅の準備をしよう。



縄文の 心と美しさは 現代にも通じているね

現代のような交通の利便性がない中ではありますが、縄文の人々は、他地域との交流、交易を活発に行っていました。北海道からは^{こくようせき}黒曜石^{こくようせき}を運び、本州からは^{りべんせい}ヒスイ^{りべんせい}という宝石を使った装飾品や^{せいかう}接着剤^{せいかう}として使用するアスファルトなどを運んできています。

土器や漆製品に用いられる精巧な技術は、縄文文化を特徴づけるものです。また土偶も縄文文化の象徴のひとつです。土偶の正確な用途はわかっていませんが、土器や漆製品と並び、現代のものづくりに通じる心や美しさがあります。



国宝「土偶」



赤塗り注口土器



事前MEMO

気になったこと・調べてみたいことを書いて旅の準備をしよう。

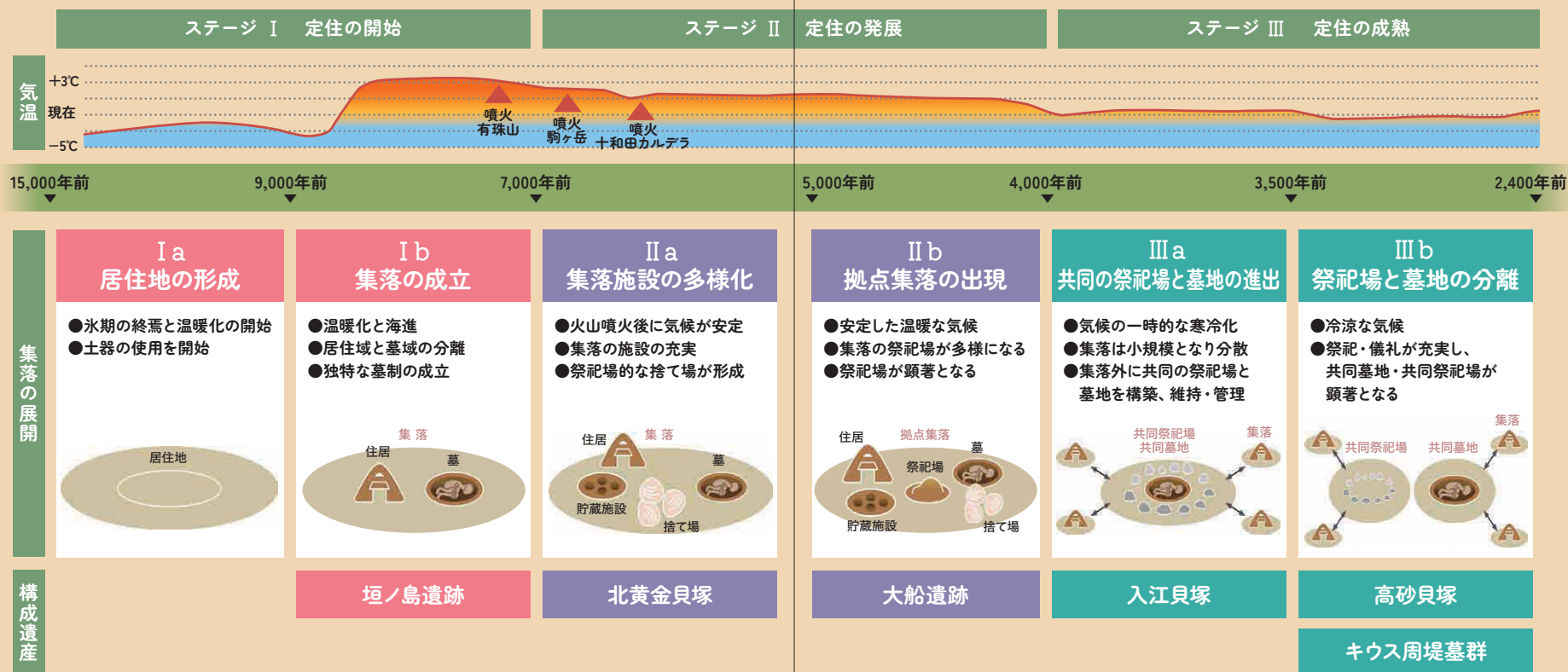
これが

縄文1万年ストーリーだ!

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の
6つのステージと北海道の遺跡



紀元前1万3千年頃から紀元前400年頃まで続いた縄文時代。集落、墓地、祭祀・儀礼の場などの遺跡群で構成された世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、当時の人々が採集と漁労、狩猟によって1年以上も定住生活を送った様子や、彼らが持ちえた複雑な精神文化が示された貴重な文化遺産です。定住の開始、発展、成熟という3つの大きなステージに分け、さらにそれぞれを2つのステージに区分しています。



※縄文時代の一般的な区分である草創期・早期・前期・中期・後期・晩期は、それぞれステージ I a・I b・II a・II b・III a・III b にほぼ相当します。

(縄文遺跡群世界遺産本部制作「北海道・北東北の縄文遺跡群」リーフレットの模式図を一部改変)

寒い時代が終わって日本全体が暖くなったよ

縄文時代黎明期

れ い め い さ

縄文時代の前の旧石器時代の北海道は、今よりも平均気温が7～8℃低いツンドラ地帯でした。地形も今と異なり、サハリンとユーラシア大陸の間にある間宮海峡、そして宗谷岬とサハリンの間にある宗谷海峡は陸続きになっていました。当時の人々は、石器を用い、マンモスなどの大型動物を追いかけて、シベリア～サハリン～北海道を移動しながら生活していました。



約2万年前の北海道周辺の地図

しかし地球全体の気候が暖くなり、旧石器時代は終わりを迎えます。海水面の上昇で島として独立し、今と近い姿になった北海道では、集団での安定した暮らしが営まれるようになりました。これが縄文時代の始まりです。

山には落葉広葉樹の森が広がり、そこでは木の実や山菜が採れました。また海や川は魚が回遊する漁場となりました。縄文の人々は食料を確保するための道具を作り、また土器が使われるようになったのもこの頃です。土器の出現で食料の貯蔵や調理が可能となり、食生活は豊かになりました。重たく壊れやすく持ち運びに適さない土器の活用は、定住生活を示す証拠のひとつです。



旧石器時代と縄文時代の違いについて
わかったことを書き留めよう。



ステージ
Ib
集落の
成立

約7,000年前

「コ」の字形の盛土遺構は国内最大規模

垣ノ島遺跡〈函館市〉

かきのしま



見学の目安
30分～
40分

丘の上に広がる集落跡からは
太平洋を眺望

竪穴建物が出現し、この集落での定住は約6,000年近くにもおよびました。魚を捕る網に付ける石のおもりが多く出土しており、漁業が盛んだことがわかります。生活の場所と墓の場所が分かっているのは、日常と非日常の空間を区別していたからです。祭祀や儀礼を行う場であった「コ」の字形盛土遺構の大きさは、長さ190m、幅120m、高さ2mと国内最大級の規模です。

この地域特有の精神文化を伝える遺物として、幼くして亡くなった子どもの足形を残した足形付土版があります。こちらは併設の函館市縄文文化交流センターで見ることができます。同センターでは土製品づくりなど楽しく学べる体験プログラムもそろっています。



子を思う親の気持ちが伝わる
足形付土版

現地学習

垣ノ島遺跡でわかったこと・学んだことを書き留めよう。

概要・精神文化

自然・環境

暮らし・食

道具・技術

その他MEMO



訪問した日を
記入しよう



所在地 北海道函館市白尻町416-4
公開時間 4月～10月 9:00～17:00、11月～3月 9:00～16:00
休場日 12月29日～1月3日 料金 無料
問合せ 函館市縄文文化交流センター TEL.0138-25-2030

関連施設 | 函館市縄文文化交流センター

所在地 北海道函館市白尻町551-1 (垣ノ島遺跡隣接)
開館時間 4月～10月 9:00～17:00、11月～3月 9:00～16:30
休館日 月曜(祝・休日の場合は翌日)、毎月最終金曜、年末年始(12月29日～1月3日)
入館料 大人300円、小・中・高・大学生150円

ステージ
IIa
集落施設の
多様化

約7,000~5,500年前

貝塚は墓としても使われていたんだ

北黄金貝塚〈伊達市〉

きたこがね



見学の目安
45分~
60分

当時は落葉広葉樹の森だった丘陵の集落跡

うちうらわん あと みず
内浦湾を望む丘の上に広がる集落跡で、竪穴建物、貝塚、墓、水場遺構など多様な施設が点在しています。水場遺構とは、湧水を利用するための施設で、今も水が湧き続ける湧水点のそばに作られています。敷地内には北黄金貝塚情報センターがあり、さまざまな出土品を見ることができます。

当時の生業は漁労が中心で、貝塚や水場遺構からは貝がら、魚や動物の骨で作られた骨角器と呼ばれる道具が出土しています。貝塚では他にも、まいそう こんせき
埋葬された人骨や、シカの頭骨を使った動物儀礼の痕跡が確認されています。このことからこの貝塚は、単なるゴミ捨て場ではなく、「すべての生き物の墓」としての機能を持つ祭祀の場であったと考えられています。



復元された貝塚の展示もあります

現地学習

北黄金貝塚でわかったこと・学んだことを書き留めよう。

概要・精神文化

自然・環境

暮らし・食

道具・技術



その他MEMO

訪問した日を
記入しよう



所在地 北海道伊達市北黄金町

公開時間 9:00~17:00

休場日 なし

料金 15名以下500円、16名以上1,000円

問合せ 北黄金貝塚情報センター TEL.0142-24-2122

関連施設 北黄金貝塚情報センター

所在地 北海道伊達市北黄金町75
(史跡北黄金貝塚公園内)

開館時間 9:00~17:00

休館日 12月~3月

入館料 無料

関連施設 だて歴史文化ミュージアム

所在地 北海道伊達市梅本町57番地1

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜(祝・休日の場合は翌日)、
年末年始

観覧料 一般300円、小・中学生200円、
未就学児は無料

※1階は無料で見学できます。

ステージ
II b
拠点集落の
出現

約4,500~4,000年前

深く掘り込まれた竪穴建物はここだけ

大船遺跡〈函館市〉

おおふね



太平洋を一望する丘の上にあります

約1,500年にわたって営まれた集落跡で、これまでに100棟を超える竪穴建物や貯蔵穴、大規模な盛土、墓などの遺構が確認されています。中でも床を深く掘り込んだ竪穴建物が、この集落ならではの特徴的な遺構です。復元整備されているので、実際に見学することができます。盛土には膨大な量の土器や石器が積み重なっており、長い間、祭祀・儀礼が行われていたことを示しています。



深さ2mを超える竪穴建物跡も

太平洋に面し、クジラ、オットセイ、マグロ、タラなどを食べていたことがわかっています。また本州との交流があったようで、北海道には自生していなかったクリの実が出土しています。

現地学習

大船遺跡でわかったこと・学んだことを書き留めよう。

概要・精神文化

自然・環境

暮らし・食

道具・技術

その他MEMO



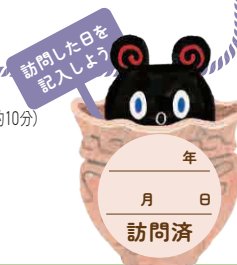
所在地 北海道函館市大船町575-1 (函館市縄文文化交流センターから車で約10分)

公開時間 4月~10月 9:00~17:00、11月~3月 9:00~16:00

休場日 12月29日~1月3日 料金 無料

問合せ 函館市縄文文化交流センター TEL.0138-25-2030

関連施設 函館市縄文文化交流センター (P12参照)



ステージ

III a

共同の祭祀場と
墓地の進出

約3,800年前

小さな集落で病気の仲間を介護していたよ

入江貝塚〈洞爺湖町〉

見学の目安
20分

貝塚からは貝類よりも魚類、海獣類が多く出土

どこへ
竪穴建物、土坑墓、貝塚で構成されている小さな集落跡です。墓からは病気にかった大人の人骨が発見され、長期間、手厚い介護を受けていたと考えられています。ほかにイノシシの牙で作られた装身具が出土しており、本州との交流が活発だったことがうかがえます。

約4,000年前

鷺ノ木遺跡〈森町〉

めく
外側を巡る二重の列石と、中央にあ
だえんけい
る楕円形の配石で構成された、環状
れっせき
列石（ストーンサークル）が出土して
います。直径約40mのほぼ円形で、北海
道では最大規模の大きさです。

所在地 北海道茅部郡森町字鷺ノ木町

公開時間 見学会開催時のみ公開
（詳細はホームページ参照）

問合せ 森町遺跡発掘調査事務所
TEL.01374-3-2240

現地学習

入江貝塚でわかったこと・学んだことを書き留めよう。

概要・精神文化

自然・環境

暮らし・食

道具・技術



竪穴建物の1/2スケール復元模型

その他MEMO

所在地 北海道虻田郡洞爺湖町入江 公開時間 貝塚トンネル 9:00～17:00

休場日 月曜（祝・休日の場合は翌日）、祝日の翌日、12月～3月末

料金 無料

問合せ 入江・高砂貝塚館 TEL.0142-76-5802

関連施設 入江・高砂貝塚館

所在地 北海道虻田郡洞爺湖町高砂町44（入江貝塚から徒歩約5分）

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜（祝・休日の場合は翌日）、祝日の翌日、12月30日～1月5日

入館料 無料



訪問済

ステージ
III b
祭祀場と
墓地の分離

約3,000年前

長かった縄文時代が終わりを迎えるよ

高砂貝塚〈洞爺湖町〉

た か さ ご



墓から見つかった土偶



貝塚からは貝がら、魚類、哺乳類の骨、漁具が出土

見学の目安
20分

貝塚と配石遺構からなる共同墓地です。分散化した集落の結び付きを強めるために作られました。ベンガラという赤い粉がまかれた墓には土偶なども埋められていました。このあと約2,400年前頃に、北海道は続縄文文化へと移行し、縄文文化は長い歴史に幕を閉じます。



訪問した日を
記入しよう

年
月 日
訪問済



現地学習

高砂貝塚・キウス周堤墓群でわかったこと・学んだこと

概要・精神文化

自然・環境

所在地 北海道虻田郡洞爺湖町高砂町

公開時間 9:00~17:00

休場日 月曜(祝・休日の場合は翌日)、祝日の翌日、12月~3月末

料金 無料

問合せ 入江・高砂貝塚館 TEL.0142-76-5802 (P18参照)



約3,200年前

しゅうていぼ
周堤墓は北海道にしかない墓だよ

キウス周堤墓群〈千歳市〉

しゅうていぼぐん



周堤墓は小川の両岸に位置



見学の目安
30分

外径約83mの最も大きな周堤墓

大小合わせて9基の周堤墓で構成される大規模な共同墓地です。周堤墓とは円形の竖穴の周囲に掘った土を積み上げ、その内側に複数の墓を配置したもので、約3,200年前の北海道でしか作られていません。最大のは外径約83mで、周堤上面から穴の底まで4.7mもあります。



訪問した日を
記入しよう

年
月 日
訪問済

暮らし・食

道具・技術

所在地 北海道千歳市中央

公開時間 9:00~17:00、冬期閉鎖

休場日 期間中無休

料金 無料

問合せ 千歳市埋蔵文化財センター TEL.0123-24-4210

北海道千歳市長都42-1 (キウス周堤墓群から車で約10分)

開館時間 9:00~17:00

休館日 土曜、日曜(第2日曜は開室)、祝・休日、年末年始

入館料 無料

さあ、旅のまとめをしよう！

縄文遺跡探究の旅は楽しめましたか？

さまざまな気づきや学びがあったのではないですか。

忘れないうちに振り返っておきましょう。

イラストを描くのもいいね！



学んだこと

楽しかったこと

興味を持ったこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

次に行って
みたい場所

調べて
みたいこと

＼またね！／



ワークはこれでおしまいです。おつかれさまでした。